

# 諫干、消費増税で応酬



参院選長崎選挙区の立候補予定者4人が顔をそろえた公開討論会  
＝諫早市宇都町、諫早文化会館（柿本忠史撮影）

## 決戦 参院選ながさき

参院選長崎選挙区の立候補予定者4人を招いたマニフェスト（政権公約）型公開討論会が22日夜、諫早市内であった。4人は、互いの主義主張に疑問を投げ掛けるなど活発に意見を応酬。国営諫早湾干拓事業の潮受け堤防排水門問題や消費税増税など、市民の関心事にも一人ずつ答えた。

の淵瀬栄子(54)、みんなの党新人の中嶋徳彦(35)の4氏。  
日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会(時忠之会長)が政治に対する有権者の関心を高めようと開催。日高雅之副会長がコーディネート。ネーターを務め、市民ら約250人が耳を傾けた。

4人は「景気対策と成長戦略」「社会保障」の二つのテーマで演説した後、討論。「最低賃金を時給千円以上に引き上げる」とした淵瀬氏の公約に対し、金子氏が「それでは中小企業が困る」と指摘。淵瀬氏は「中小企業が

支払えるよう国が手だてをすべき」と持論を展開した。中嶋氏が「民主党の政策はバラマキと言われるが」と問うと、犬塚氏は「当たっている」と答えて会場を驚かせたが、「ふたを」開けてみないと分からないこともある。与党になると「情報量が」全然違う。大事なものはこれから一つ一つやる姿勢だ」と強調した。

中嶋氏はさらに、自民党在籍時に参院選の公認を争った金子氏に対し「若手政治家が出てくるのをどう思うか」と恐る恐る質問。金子氏は「大いに結構。ほかに言うことはない」と言っ

苦笑いで応じた。

質問を事前に募集したところ、メールやファクスで約100通が寄せられた。最も多かったのは「諫干の開門調査の賛否」。金子氏は「反対」を明確にし、中嶋氏も「有明海の資源回復を前提に反対」と述べた。淵瀬氏は「賛成。一日も早い開門を」、犬塚氏は「調整池の水位を海面より1メートル低く保つ管理開門に賛成」と述べた。次に質問が多かった「消費税」について、中嶋氏は「否定しない」としたが、金子氏は「まず歳出を見直すべき」と慎重論。犬塚氏も「反対。先に事業仕分けを徹底し、公会計法を成立させるべき」とし、淵瀬氏は「絶対反対」と明確に訴えた。

来場した島原市の自営業男性(55)は「4人の主張を比較でき、知らないことも勉強になった」と感想を述べた。